

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	・やはり会社単位の宴会等が少なくなっていることと、国内、海外旅行の機会が少なくなっているためか、地元での消費が増えてくるのではないかと。
	○	商店街（代表者）	・諸物価が上がるなかで、給料も何とか多少は上がっていく傾向なので、春先に期待している。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、全国旅行支援の再開で、当面は期待が持てる。
	○	一般小売店〔薬〕（経営者）	・当店の周りは飲食店街が控えているが、店がほとんど閉まっており、どん底の状態、どうしようもない。少しでも上がってほしいという期待感を込めての回答である。
	○	コンビニ（経営者）	・当県では新型コロナウイルスの感染が拡大しているが、お構いなしに人が騒いでいるので、良くなっていく。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりで推移しているせいか、1か月後の法人や団体利用でキャンセルや人数の減少が増える傾向にある。その先は、現在のところ、キャンセル等の動きはなく、予約は好調に推移している。個人利用は変わらずに好調なため、全ては新規感染者数次第となる法人、団体利用の影響が強い。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・政府が新型コロナウイルス感染症の分類を第5類に引き下げることが検討するという報道があった。3～4月以降ということなので、それをきっかけに法人宴会はかなり増えてくると思う。また、全国旅行支援も1月10日以降再開するので、県外客の往来も出てくるのではないかと。
	○	通信会社（社員）	・年度末の引っ越し需要に期待している。また、料金プランの見直しも考えたい。
	○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、感染対策を徹底して万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	□	百貨店（営業担当）	・今は、電気や灯油等がかなり値上がりしている。また、日用品関係も値上がりしているので、基本的には今のような慎重な買上状況だと思うので、景気は上向き傾向にない。
	□	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染症の行動制限がなくても、なかなか以前の売上に戻らず、時間が掛かっている。今もほぼ例年どおりの営業をしており、今後新しい何かがあるわけではないので、3か月後も変わらないのではないかと。インバウンドの波が来れば良いが、地方では元々インバウンドの影響が少ないので、期待できない。
	□	スーパー（経営者）	・1～3月はあつという間に過ぎる期間で、早く春になってもらいたい。冬のイベントの仕事が入ると、売上は上がるが、先のことはどうなるか分からない。
	□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にやや落ち着きがみられるので、恐らくそれほど売上は変わらない。
	□	コンビニ（店長）	・今後、極端に良くなるとか悪くなる状況は余りないので、難しいところだが、動き自体は変わらないのではないかと。
	□	家電量販店（店長）	・物価高、材料不足など問題が多い。
	□	乗用車販売店（経営者）	・年末年始の人流による新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される。新車供給の回復も短期的には見込めないかと、景気は現状のまま推移するのではないかと。
□	自動車備品販売店（従業員）	・なかなか新車の生産が回復していないため、余り状況は変わらない。	
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症はこれからも同じような動きになると思うが、物価上昇への対応がなされない限り、景気回復は望めない。ロシアによるウクライナ侵攻、米中関係を始めたこと、きなくさい話の影響がもっと出てくると思う。	
□	一般レストラン（経営者）	・今後の天候次第で、かなり左右される。	

□	スナック（経営者）	・少しでも良くなると思いたいが、良くなりそうな感じが無い。コロナ禍が始まって、すぐに緊急対策融資をしてもらい、今まででこのくらいでこられたが、ここまで長引くとは想定していなかった。そろそろ返済がつかなくなってきている。商売を辞める店も増えてきているのも分かる。
□	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、これ以上悪くならないでほしいという回答である。本当に困った1年であった。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・例年1～3月は、それほど来客数が伸びないので、現在と変わらない。全国旅行支援がどのように影響するのかは不明である。
□	旅行代理店（副支店長）	・しばらくは、物価上昇や政情不安の解消が見えないことから、先行き不安感や不透明感は否めない。全国旅行支援の期間延長はしたもの、終了となる3か月先の受注状況は非常に低迷する。
□	タクシー運転手	・今月前半はやや悪い状態で心配していたが、15日の年金支給日を境に、年末に向かってやや回復してきたものの、前年比95%くらいで終わりそうである。
□	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況はある程度落ち着き、重症者も減少していくことで来客数は増加するが、原材料費や光熱費の高騰がいつまで続くのか不透明である。
□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・観光地であるが、今はまだ、中国人観光客が全く来ていないので、中国の新型コロナウイルス感染症の動き次第で、景気は大分変わってくる。また、原油高騰で結構大変である。
□	設計事務所（職員）	・社員1人当たりの担当物件が多い状況は当分続く。
□	住宅販売会社（経営者）	・コロナ禍による巣籠り指向の需要は一巡し、別荘販売は低調に推移する見通しである。
▲	商店街（代表者）	・様々な企画が出てくるが、客の反応は鈍い。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・全ての物の値上がりに伴い、消費は冷え込んできている。
▲	百貨店（経理担当）	・雪害、新型コロナウイルス感染症、物価上昇等の影響で、好材料がない。
▲	スーパー（経営者）	・実質的な家計の可処分所得低下で、徐々に財布のひもが固くなるように感じている。
▲	コンビニ（経営者）	・増税方針を見直さない限り、景気は良くならない。
▲	コンビニ（経営者）	・天候や物価高の影響もあるので、客足が遠のいてしまうのではないかと懸念がある。
▲	コンビニ（エリア担当）	・長期金利変動幅を拡大するとの発表があったため、やや悪くなる。
▲	スナック（経営者）	・12月にもかかわらず、団体客が全く来店せず、例年の7割くらいの売上しかない。年明けは更に厳しくなる可能性の方が高い。
▲	観光型旅館（経営者）	・全国旅行支援の割引が徐々に減少することは、ハードランディングを避けるために有り難いことだが、1月からは、利用できる人数が大幅に減っていて、対象期間の最後まで支援が利用できないのではないかと懸念されるため、3か月後は現状よりやや悪くなる。
▲	ゴルフ場（経営者）	・働き方改革の影響による人手不足で事業拡大に足踏みしている状況である。業務効率化のための投資も必要である。金融引締めと増税も心配なところである。金融緩和から財政出動までやって、成長戦略が成功していないうちに回収となれば、株価は下落し、景気は後退すると予測する。
×	衣料品専門店（経営者）	・物価高騰や燃料費の高騰によって、普通の買い回り商材を買う客が少ない。
×	その他専門店〔酒〕（店長）	・円安の影響で、様々な物が高くなってきている。12月の飲食店の動向をみても、非常に厳しい様子が見受けられる。今後また年明けに値上げが始まると思うので、かなりシビアな状況が生まれるのではないかと懸念がある。日本酒の1升瓶は、かなり供給がタイトということで、生産量を上げられないという話を聞いているので、前年を上回る仕入れはなかなか難しいかもしれない。2～3か月後は厳しい状況になっているとみている。
×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染再拡大も懸念材料だが、光熱費の高騰も経営を厳しくしている。物価上昇や増税等、良い材料が見当たらない。

企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調である。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・例年、新生活準備時期は売上が伸びる傾向にある。ただし、物価高による客の低価格志向については懸念している。
	○	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・1月は国際的な宝飾展示会も開かれるが、現状では、まだ中国からの客の来場は見込めない。さらに、展示会用に新商品を作りたくても、材料になる宝石の供給元である海外の工場が、新型コロナウイルス感染症の影響で生産を縮小しているため、魅力のある材料が手に入らない。満足のいく商材がそろえられないことから、年明け当初は苦しい状況が続く。ただし、円安が止まり、3月の海外展示会へ出展できる状況も出てきたので、多少は良い方向に向くのではないかと期待している。
	□	食料品製造業（総務担当）	・物価高で先行きは不透明である。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ワークショップの予約の動きはややあるので期待感はあるが、商材受注は見込めない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先より電子部品の流通が良くないとの情報があり、再度部品入荷遅延による生産調整が掛かりそうな状態である。特に、海外からの部品は予定どおりの入荷が見込めない傾向にある。
	□	建設業（経営者）	・受注量は問題ないと思うが、今後は利益面からも考えていきたいと思っている。
	□	金融業（経営企画担当）	・世界的な金融引締めによる金利上昇から、世界景気が失速傾向にあり、しばらくは現状のままか、あるいは景気鈍化方向へ進む可能性がある。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・今後も紙代は上昇傾向で、新型コロナウイルス感染症の分類が来年に5類になれば、イベント等が活発化することが予想されるものの、はっきりとした見通しはついていない。旅行部門では海外旅行需要が少しずつ増えてきていることはプラス要因である。
	▲	食料品製造業（営業統括）	・インパウンドによる効果は若干期待できるが、諸物価高騰の影響で、利益率は大幅にダウンしている。経営状況は今後厳しい方向に向かうものと考え。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・資材や紙の価格上昇によって、景気の良くなる見通しが立たない。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・12月は納期が集中して忙しかったが、1月からの生産量は通常状態に戻る。
	▲	金融業（調査担当）	・観光関連は前年に比べ持ち直すとみられるが、製造業はやや弱い動きが進む懸念がある。
	×	食料品製造業（製造担当）	・電気料金が爆発的に上昇しており、契約はしたものの、値上げ分を商材価格へ転嫁をしないと、大変厳しい財務内容になる。節約程度ではとても無理である。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	求人情報製作会社（総務担当）	・求人依頼が増えている。また、世の中の動向もどんどん戻りつつある実感がある。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・収入減が響いており、消費動向も変わらず、財布のひもも固い。
	□	職業安定所（職員）	・円安が続いていることと、新型コロナウイルスの感染第8波の行方がどうなるかということで、状況が分からないので、変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・食料品等の値上げが行われることで、買い控えなど消費減退が懸念されるが、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和が継続されれば、観光業やそれに付随する産業は、現状を維持できる。
	□	職業安定所（職員）	・原油価格高騰等が及ぼす企業の生産活動への影響が懸念されるが、今後2～3か月の間は変わらない。
	▲	職業安定所（職員）	・物価高騰や円安等の影響、金融政策の効果がどの程度になるか見通しが立たない状況で、新型コロナウイルスの感染状況も依然改善せず、対応も定まらないなかで生産活動も消費動向も低迷する。
	▲	民間職業紹介機関（経営者）	・物価高、円安、景気に対する将来不安からか、多くの企業でボーナスが芳しくないようである。

